

恵みと真理のニュース



2016 年 5 月の四次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



【証】

人生の中で多様な救いの恵を与えてくださり、 苦難の中でも感謝する信仰も与えてくださった神様を賛美します

私は姑の伝道で恵と真理教会に来て決信して信仰生活を始めました。結婚を控えて旦那の家に挨拶をしに行ったら予備姑は結婚したら6ヶ月間は週末はここに来て主日には一緒に教会に行ってお祈りをささげようと言いました。その場で私はすぐ約束して結婚した後、約束の通り主日ごとに姑について教会に行きました。無理やりにも続けてお祈りに行ったらある時から御言葉が恵になりイエスキリストに対する信仰が甦りました。姑と約束した6ヶ月が過ぎても教会に行ってお祈りを捧げるのが週間になって親と離れても家から近い聖殿でお祈りを捧げました。忙しい生活で平日のお祈りに参加することが出来ませんでしたが主日だけはお祈りに行きました。

初めて子供を妊娠して流産の危機で会社で3ヶ月間休暇を得て病院生活をするようになりました。病院で過ごすあいだ体が安定するのをお願いながら神様に祈り聖書を読みました。そうしながら聖書に対する理解と知識が足りない時だったので御言葉の疑問がありました。

“ヤコブは良いね、でもかわいそうだな。” “妹のマリアより姉のマルダがもっとイエス様から褒められるべきではないのか？” など様々な考えをして一日を過ごしました。そうするうちに教区牧師が病院に来て12年間も出血が止まらない女がイエス様に対する信仰で治癒された説教と祈ってくださいました。話を聞いて心の不安と否定的な考えがなくなり、全能な神様を考え私の口ではアーメンと言いました。その日は久しぶりに深く寝ましたが夜明けに初めて聞いた奇異な声を聞き起きました。不思議な体験をしました。やわらかくて一方恐れと圧倒的なその声が今も生き生きして疲れた倒れる時にイマヌエルの神様を考え新しい力を得ます。

その朝様々な検査を受けました。状態が良くなって退院しても良いと驚く検査結果を聞いてついに家に帰りました。全能な神様が私を治療してくださったのです。このことがあって私は喜びと感謝でお祈りを捧げ神

様にもっと近づきました。暑理執事の任職を勧められました時、以前だったら“ようやく主日お祈りだけお祈りを捧げているのに私がどうやって執事をするの？”と先に考えたはずだが、今は信仰で胆力と従順する心が強くなって“神様が担える能力と熱心もくださるだろう。”と思い夫婦が感謝する心で職分を受けました。その後、何回も引越して教会を歩き来しながら家から教会が遠くても家族みんなが熱心に信仰生活をしました。

二番目の子を出産してから育児休職の中で家の近くに聖殿が立てられました。その時から全てのお祈りと区域お祈りにも参加しました。生活環境と状況は変わらないが教区長が全てのお祈りに参加するように勧められて“はい。”

と従順しました。お祈りを捧げることに主の恵と愛をもっと深く豊かに感じるようになりました。人生に関する根本的な質問から聖書御言葉と内容の中でもっと深く知りたい質問に対する答えも得て疑問の答えと渴くのが解決されお祈りの時間を待ち望んで御言葉を愛するようになりました。主の事に献身するのが人生の中で福あるのを悟りました。平日お祈りも参加して当会長牧師の聖書講解も聴き“実に、信仰は聞くことにより、しかも、キリストの言葉を聞くことによって始まるのです。”という御言葉のように私の信仰が深くなりました。

復職を控えて、経済的な苦しみもあって旦那が職場を辞めて新しい事業を始め家庭が安定されない状況でお祈り中心の生活を守らないとどうしようかと心配して神様の助けを求めて切に祈りました。すると神様は道を開いてくださいました。

会社で10年間ぶりに名誉退職の制度をはじめ私は期待した以上の退職金をもらって経済的にも克服できました。その過程も私の髪の毛までも数えられる慈しみ深くて全能な神様の摂理を感じることができました。二番目の子が先天的な 奇形を持って生まれました。すぐ、手術をしなければならぬ急迫な状況ではないですが、歯が生える時期になるごろ歯ぐきに変形し歯

が生えなくて病院に行きました。医師は歯の根はありますが歯ぐきを穿つかどうか良くわからないと言われました。今、このまま放置すると永久歯が生えないと骨盤の骨を切って移植する手術をしようと勧めました。この信じられない話を聞いて、涙が出ました。旦那と私を恨みました。気をしっかりと持って神様に祈りをしても不安と恐れる心はありました。

ヨハネの福音書9章1〜3節の御言葉で恵を与えてくださいました。“生まれつき目が見えない人の話が今の私の状況と心を全部知っているように大きい落胆をしている私にくださる大きい慰めと希望の御言葉をください信仰と勇気を与えてくださいました。そして心の落胆はなくなり平安と希望を与えてくださいました。感謝する心で神様に治療の恵を求め熱心に祈りました。そして、私の信仰と祈りが間違いなく子供が正常に歯が生えて奇形のところもすぐ見たら信じられないほど良くなりました。

“そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、 忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。”（ロマ書5：3、4）ハレルヤ

これから私はどんな問題にあってももっと祈って感謝して主を支えるために許可された祝福の苦難とします。まだ足りないところが多いですが

弱い信仰でも主はいつも私と共にいらっしゃって私を強くしてくださいるの知っているのです主をもっと委ねて力を持って生きます。いつも喜んで感謝し祈るように私を変化してください多様で豊かな救いの恵みを楽しむように導いてくださった神様の恵みに感謝します。

私を伝道して娘のように愛してくださる姑はかわいそうに病気にかかっています。癌の闘病していますが、神様の恵みで健康な時と同じくお祈り中心の信仰生活をしています。以前は姑が私のため心を尽くして祈ったように今は私が希望の中で母のため切に祈っています。ラバの神様が治療して下さって母がもっと長く幸せに主を支えるように切に祈っています。



【信仰コラム】

どのようにしたら救いを得ますか？

“... イエスは言われた、「よく言うておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう。」”（ルカによる福音書23：39〜43）

“どのようにしたら救いを得ますか？” “どんな人が救いを得ますか？” という質問に対する正しい答えは聖書に掲示されています。ここでの救いとはとこしえの命を得て天国に入ることを意味します。聖書に記録された歴史と事件、詩と箴言、律法と予言、手紙と説教、イエス様の生涯に関する記事等、いかなる部分を抽出しても救いの真理がその中に濃縮されています。イエスキリストが罪人を救うために十字架につけられた時、イエス様の左右の方にも二人の強盗が各々十字架につけられました。そして、数時間後に二人の魂はそれぞれ別の世界に行きました。ある強盗は黄泉に行き、もう一人の強盗は楽園に行きました。救いを得て楽園に行った強盗の言葉と態度を分析して救いに関連されている要点を整理してみます。

第一、神様を恐れる心を持つべきです。二人の強盗は今まで神様を恐れずに過ごしました。そうして自分の欲心を満たすために犯罪を犯してきたのです。しかし、十字架につけられた今、彼らの中で一人の強盗は正義で審判なさる神様を恐れる心を持つようになりました。正義で審判なさる神様を恐れる心があるこそ悔い改めるようになります。

第二、自分が罪人であることを神様の前で認めて自白すべきです。

神様を恐れるようになった強盗は他の強盗に“我々は自分が行ったことの報いを受けるのだから当然だ。”と言いました。人は誰でも自分が神様の前で犯罪したことを知ってその罪の深刻さを意識すべきです。神様に自分が罪人であることを認めて自白すべきです。

第三、イエス様がどのような方であるかを知らなければなりません。自分が罪人であることを認めた強盗はイエス様は罪がないのに自分達のように刑罰を受けていることを悟りました。イエス様が正しい方であることを知った強盗は“イエス様はもろもろの王の王、もろもろの主の主、天国の主人である。”ということも悟りました。彼がイエス様についてただ、数時間の間に完全に分かるようになったのは天のおられる神様が知らせてくださったからです。

第四、イエス様に自分を任せなければなりません。悔い改めた強盗は“イエスよ、あなたが御国の権威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください。”とイエス様に懇請しました。彼は凶悪な強盗であったが、敢えて主の哀れみと受け入れを求めました。そして、イエス様に彼の魂と将来を任せました。“わたしを思い出してください。”ということは主の国で過ごすようにしてくださいという意味です。

最後に、悔い改める者に救いを与えてくださる主イエスキリストの恵みについて調べてみましょう。イエス様は悔い改める強盗に差別のない救いの恵みを与えて

くださいました。最後の瞬間にイエス様が救ってくださったこの強盗は何の善行もできない人でした。万が一、救いが善行によって叶えられるとしたら、彼は救いを受けられなかったでしょう。彼には正しい事をすることができるときの機会が終りました。ただ死ぬ前にしばらくの間少し話すことができただけです。

なのに、イエス様は罪の許しと共に彼に天の門を開いてくださいました。死の瞬間に真実をもって悔い改めた強盗に許された救いの恵みは決して例外的なことではありません。ある強盗が救いを得る感動的で恵みぶかい場面を通じて私達は主イエスキリストによる救いがいかに豊かで単純明瞭であるかを悟ることができます。そして、凶悪な強盗であっても神様の恵みが臨むと短い時間に完全に变化されたという事実を考えて私達の周囲に片意地な人がいるとしても伝道すべきであり挫折や諦めをしてはなりません。

十字架につけられた強盗は悔い改める機会をつかみ楽園に入ったが、この世でお祈りと伝道、奉仕をする機会を得ることはできませんでした。未だに悔い改めていない方々は今悔い改めて救いを得てください。そして、聖徒の皆さんは救いを得た喜びと感激が満ちてお祈りと奉仕に励み、この救いの消息を広く述べ伝えてください。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム『緑の牧場、清い川』本の語り中」

祈る聖徒が経験する三つ種類の変化



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

祈るためには必ず取りそろえなければならない基本的な要素が二つあります。 祈りをきく神様が いらっしゃるのを信じることとイエスキリストの名前で父神様に祈るのです。神様はイエスキリストを信じる人々の父になります。そして 子供の祈りを回答します。 聖書に記録されるのを “彼を受けいれた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。” （ヨハネによる福音書 1:12）と言いました。 イエス様は祈りに関して次のようにおっしゃいました。

“よくよくあなたがたに言うておく。あなたがたが父に求めるものはなんでも、わたしの名によって下さるであろう。”（ヨハネによる福音書 16:23）今日は祈りによって経験する三つ種類の変化に対してよく見ます。

第一は、神様が私たちの祈りをきいてどんな対象に対する自分の態度と意向を替える場合をよく見ます。

神様の本質と品性は永遠に変わらないです。しかし何を成すとか行おうとする神様ののみ旨は変わることができます。しかし被造物によって強制されて変わる事は決してないです。ただ、神様の義のあることと愛によって自らみ旨を振り返る場合があります。私たちの祈りをきいて神様が態度と意向を替えます。

聖書でその例を捜してみましょう。 モセと関わる事件をよく見ます。 神様がエジプトで奴隷の生活するイスラエル子孫を救い出してガナアン地に導こうと決心しました。 モセは神様の権能でイスラエル子孫をエジプトから導いて出しました。 イスラエル子孫が紅海を渡って行進してシナイ山の下に到着してその所に泊まりました。神様がモセをシナイ山の上に呼びました。 モセがシナイ山に上がって神様から律法を受けているうちに山の下の民は墮落して金の子牛の偶像を作って崇拜する罪悪を犯しました。

イスラエル民は “あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水の中にあるものの、どのような形をも造ってはならない。それを拝んではならない。またそれに仕えてはならない。” と告げる神様の音声をきいてそのお言葉どおり遵行すると約束しました。 それにもかかわらず 40 日が経つことができなくて金の子牛の偶像を作りました。 シナイ山の上にいるモセは何の事が民に起きているのか分からなかったです。 神様はこの事件に対してモセに知らせた後彼らを所滅なさる計画を宣言しました。 神様がモセにおっしゃるのを “主はまたモーセに言われた、「わたしはこの民を見た。これはかたくなな民である。それで、わたしをとめるな。わたしの怒りは彼らにむかって燃え、彼らを滅ぼしつくすであろう。しかしわたしはあなたを大いなる国民とするであろう。」（出エジプト記 32:10）としました。モセは仲裁のお祈りをしました。 これを三部分で分けることができます。

第一は、“ どうしてエジプトびとに『彼は悪意をもって彼らを導き出し、彼らを山地で殺し、地の面から断ち滅ぼすのだ』と言わせてよいでしょうか。どうかあなたの激しい怒りをやめ、” としました。 イスラエルが神様の民という事実で神様があわれんで思ってくださいのを訴えたのです。

二番目は “ どうしてエジプトびとに『彼は悪意をもって彼らを導き出し、彼らを山地で殺し、地の面から断ち滅ぼすのだ』と言わせてよいでしょうか。どうかあなたの激しい怒りをやめ、あなたの民に下そうとされるこの災を思い直し。” としました。 モセは神様の名誉を言及しながら神様の光荣と聖なる名前が無視されてはいけないと訴えました。

三番目は、“ あなたのしもべアブラハム、イサク、イスラエルに、あなたが御自身をさして誓い、『わたしは天の星のように、あなたがたの子孫を増し、わたしが約束したこの地を皆あなたがたの子孫に与えて、長くこれを所有させるであろう』と彼らに仰せられたことを覚えてください。” としました。

モセは神様が誓った口約束に対して言及しながら神様の信実なさるに訴えました。神様の約束は祈りの基盤になります。 モセはこのように神様の品性と神様の名誉と神様の口約束を立てながら訴えました。 出エジプト記 32 章 14 節を見ると “主はその民に下すと言われた災について思い直された。” と記録されました。モセの切実な仲裁の祈りによって神様がみ旨を振り返えし、イスラエル民に下すとおっしゃった災いを下げなかったです。 神様が人の祈りをきいて自分の態度と意向を替えたという事実は私たちに深い感動とともに神様に訴える祈りができるように度胸を得させてくれます。

二番目は、祈りは良くない性格と考え方そして悪い言語習性が変化されさせます。

人の性格や考え方には先天的なものと後天的なことがあります。 先天的なことは遺伝によることなので変化されやしくないです。 後天的なことは他人から影響を受けたとか習慣によってできたのです。 これもまた病み付き化されたことは変化されにくいです。 良くない性格と考え方と言語習性が変化されない理由は明らかです。これを自ら弁解して弁護するからです。あるいは変化がほしくないからです。 努力して相当な変化があってもまた元々状態に帰るからです。 完全に变化されるまで絶えずに努力が必要です。 私たちが必ず憶えなければならないことがあります。 神様の助けを受けなければならないというのです。 聖霊の実が結ばせるのです。 このためにすべきことが祈りです。 自分の良くない性格と考え方と言語習性を神様に告白して変化させてくれと切に祈らなければなりません。 神様はこんな祈りを善良に思って助けを施します。

三番目は、祈りは当面した問題と困難な状態を有利して有益な状況に変化させます。

パウロ使徒は第 2 次の伝道の旅行の中にドロアで幻想を見ました。 マゲドニア人の一人が立って請ずるのをマゲドニアに渡って来て私たちを助けなさいと言いました。 パウロは神様の導くことに分かって仲間と一緒に船に乗ってエゲ海を渡りました。 マゲドニアのピリボ城で旅装をしました。 パウロ連中がユダヤ人が集まる川端の祈り先に行くのにある女人がパウロを付きまといながら大声を出すのを “この人々は極めて高い神様のしもべで救いの道をあなたがたに伝える人だ。” としました。

この女人が多くの日をこのように一緒にしたらパウロが甚だしくつらがつっている途中 “イエスキリストの名前で私が君に命じる だから彼から出て行きなさい。” したら鬼が直ちに離れ去ったし女人は鬼の抑圧から自由を得るようになりました。 この女人は鬼に取り付かれて占なう女人でした。 この女しもべを利用して収入をあげていた主人は占なう 女しもべが鬼から離れたことに対して悔しく思いました。 彼らのお金儲け手段が消えた理由でした。 彼らはパウロとシルアノを官員に連れて行きました。 官員はパウロとシルアノの服を裂いてむいてから たくさん打った後に獄に閉じこめました。

看守はパウロとシルアノを深い獄に閉じこめました。 お腹はすいていて のどが渴くながら打たれた身の苦痛は時間が経つほどますます痛くなって行くので夜が深くなってもパウロとシルアノは眠ることができなかったはずでした。 とこで夜の十二時頃になって驚くべきことにパウロとシルアノが祈って神様を賛美しました。 その時 獄が動いて門がすべて開かれながら縛られたのがすべてはげました。 看守は獄門がすべて開かれているから罪囚が逃げたと判断して自殺しようと刀を抜いて出しました。 パウロが看守の行動を見て “あなたの身を傷つけないで 私たちがすべてここにいる。” と大きく声を出して沮止しました。 看守が初めて我に返って燈を持って現場確認をしてからは恐ろしくて震えました。 彼は透かさず跳びこんでひざまずきました。 パウロとシルアノは普通人のように考えられなかったはずでした。 看守はパウロとシルアノを連れて出ました。 そして “先生よ、私がどのようにすると救いを得ますか?” と尋ねました。 パウロは簡単に明瞭に救いの真理を言いました。 “主イエスキリストを信じなさい。 そんなにすればおあなたとあなたの家族が救いを得よう。” 看守は福音を受け入れたし自分とすべての家族がすべて洗礼を受けました。 看守はパウロとシルアノを自分の家で面倒をして行って食べ物を調べて接待しました。 そして家族と共に大きく喜びました。 日が明るくと官員が執行官を看守に送ってパウロとシルアノを釈放しなさいと指示したがパウロの抗議を受けて官員が直接来て丁寧な言ってピリボを離れ去るように懇切に請じました。 パウロとシルアノは極限状況でも祈りました。 彼らの祈りは神様の権能がその所に臨ませました。 状況は劇的に反転されて変化されました。

神様は皆さんの祈りをきいて、どんな対象に対する神様の態度と意向を替えます。神様は皆さんの祈りをきいて、良くない性格と考え方そして悪い言語習性が変化されさせます。 神様は皆さんの祈りをきいて、当面した問題と困難な状態が有利で有益な状況に変化されさせます。 愛する皆さんは積極的に祈ってください。 熱烈に祈ってください。 忍耐心を持って祈ってください。 そして三つの種類の変化に対する体験が皆さんの一生を通じて日々に累積するように願います。